

2023年9月試験対策（第33回）
的中答練 第1回

2 級 解 答 ・ 解 説

建設業経理士2級的中答練第1回解答・解説

〔第1問〕 仕訳 記号（A～X）も記入のこと。

No.	借 方					貸 方											
	記号	勘 定 科 目	金 額					記号	勘 定 科 目	金 額							
(例)	B	当 座 預 金		1	0	0	0	0	A	現 金		1	0	0	0	0	
(1)	N	仮 受 消 費 税		7	4	8	0	0	I	仮 払 消 費 税		1	0	3	6	0	0
	H	未 収 消 費 税		2	8	8	0	0									
(2)	J	手 形 貸 付 金		2	6	3	0	0	B	当 座 預 金		2	6	3	0	0	
(3)	V	社 債 発 行 費		6	0	0	0	0	F	仮 払 金		6	0	0	0	0	
	S	社 債 発 行 費 償 却		1	2	0	0	0	V	社 債 発 行 費		1	2	0	0	0	
(4)	C	別 段 預 金	2	0	0	0	0	0	Q	新 株 式 申 込 証 拠 金	2	0	0	0	0	0	
	W	株 式 交 付 費		3	0	0	0	0	A	現 金		3	0	0	0	0	
(5)	K	貸 倒 引 当 金		6	3	0	0	0	D	完 成 工 事 未 収 入 金		7	1	0	0	0	
	X	貸 倒 損 失		8	0	0	0										

仕訳1組につき4点 合計20点

(3)については以下も正解とします。

(3)	V	社 債 発 行 費			4	8	0	0	0	F	仮 払 金			6	0	0	0	0	0	0
	S	社 債 発 行 費 償 却			1	2	0	0	0											

〔第2問〕

(1) ￥

3	2	6	0	0	0
---	---	---	---	---	---

(2) ￥

8	1	7	0	0	0
---	---	---	---	---	---

(3) ￥

2	5	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---

(4) ￥

1	2	0	5	0	0
---	---	---	---	---	---

各3点 合計12点

〔第3問〕

部 門 費 振 替 表													(単位：円)																										
摘 要	合 計					第 1 部 門					第 2 部 門					車 両 部 門			機 械 部 門			材料管理部門																	
部門費合計	7	4	6	6	0	0	0	2	8	8	0	0	0	0	2	7	4	0	0	0	0	4	0	8	0	0	0	6	0	2	0	0	0	8	3	6	0	0	0
車 両 部 門	4	0	8	0	0	0	2	1	6	0	0	0	1	9	2	0	0	0																					
機 械 部 門	6	0	2	0	0	0	3	0	8	0	0	0	2	9	4	0	0	0																					
材料管理部門	8	3	6	0	0	0	4	0	8	5	0	0	4	2	7	5	0	0																					
合 計	7	4	6	6	0	0	3	8	1	2	5	0	3	6	5	3	5	0																					

1つにつき2点 合計14点

〔第4問〕

問1

記号
(A～C)

1	2	3	4
B	A	C	A

各1点 計4点

問2

工 事 原 価 明 細 表			(単位：円)	
×2年11月				
	当月発生工事原価	当月完成工事原価		
I. 材 料 費	1 9 8 5 0 0	1 9 3 6 8 0		
II. 労 務 費	1 9 1 3 3 0	2 1 6 2 3 0		
III. 外 注 費	2 9 6 1 0 0	3 2 4 7 0 0		
IV. 経 費	1 8 3 5 5 0	1 8 5 3 3 0		
(うち人件費)	(7 9 7 0 0 0)	(8 1 0 7 0 0)		
	8 6 9 4 8 0	9 1 9 9 4 0		

一つにつき4点 計20点 合計24点

〔第5問〕

精 算 表

(単位：円)

勘 定 科 目	残 高 試 算 表				整 理 記 入				損 益 計 算 書				貸 借 対 照 表			
	借 方		貸 方		借 方		貸 方		借 方		貸 方		借 方		貸 方	
現 金	2590000												2590000			
当 座 預 金	3490000				580000		710000						3840000			
受 取 手 形	2670000						300000						2370000			
完成工事未収入金	3630000												3630000			
貸 倒 引 当 金			20000				30000								360000	
未 成 工 事 支 出 金	1970000				40000		60000						1711000			
材 料 貯 蔵 品	310000				15000		30000						260000			
仮 払 金	1800000						1800000									
有 価 証 券	1000000				30000								1030000			
機 械 装 置	3600000												3600000			
機械装置減価償却累計額			1356000		6000										1350000	
建 物	7500000				830000								8330000			
建物減価償却累計額			2750000				250000								3000000	
備 品	1200000												1200000			
備品減価償却累計額			200000				200000								400000	
支 払 手 形			2639000												2639000	
工 事 未 払 金			1500000				280000								1850000	
未 成 工 事 受 入 金			290000				480000								770000	
未 払 金			180000				30000								550000	
完成工事補償引当金			43000			3000									40000	
退職給付引当金			1020000				290000								1310000	
資 本 金			11500000												11500000	
繰越利益剰余金			1872000												1872000	
完 成 工 事 高			4000000								4000000					
完 成 工 事 原 価	20480000				510000				20990000							
販売費及び一般管理費	13130000				550000											
					180000											
					240000											
					250000				14690000							
					200000											
					140000											
	63370000		63370000													
前 払 家 賃					160000								160000			
不 渡 手 形					300000								300000			
棚 卸 減 耗 損					10000				10000							
貸倒引当金繰入額					300000				340000							
有価証券評価益							30000				30000					
未 払 法 人 税 等							580000								580000	
法人税、住民税及び事業税					1200000				1200000							
					6269000		6269000		37230000		40030000		29021000		26221000	
当 期 純 (利 益)									2800000						2800000	
									40030000		40030000		29021000		29021000	

 1つにつき3点 合計30点

【解答への道】

〔第1問〕

(1) 未収消費税

決算において確定した、仮払消費税1,036,000円と仮受消費税748,000円の差額を未収消費税（資産）に計上します。

(2) 手形貸付金

資金の貸借という財務取引に関する手形上の債権債務は、手形貸付金（資産）・手形借入金（負債）で処理します。本問では資金を貸し付けたということから、手形貸付金勘定を使用します。

(3) 社債発行費

社債を発行した際に支払った社債発行費用は問題の指示により繰延処理をするため、社債発行費（資産）で処理します。また、社債発行費は償還期限5年にわたって償却し、償却額は社債発行費償却（費用）に計上します。

① 社債発行時 ← この仕訳は既に行われています。

(仮 払 金)	600,000	(現 金)	600,000
-----------	---------	---------	---------

② 決算日 ← 本問の解答

(社 債 発 行 費)	600,000	(仮 払 金)	600,000
(社 債 発 行 費 償 却) (*)	120,000	(社 債 発 行 費)	120,000

(*) 600,000円 ÷ 5年 = 120,000円

(4) 新株式申込証拠金

新株を発行する際に払い込まれた証拠金は新株式申込証拠金（純資産）で処理します。また、募集の際に支払った手数料は増資のための費用になりますので、株式交付費（費用）で処理します。

払込金額：40,000円 × 5,000株 = 200,000,000円

(5) 貸倒れ

前期以前の完成工事未収入金が発し倒れた場合は、貸倒引当金勘定（資産のマイナス）を取り崩します。また、貸倒引当金の金額が不足した場合には、その不足額を貸倒損失勘定（費用）で処理します。

完成工事未収入金：1,260,000円 - 550,000円 = 710,000円
回収

貸倒引当金：1,260,000円 × 50% = 630,000円

〔第2問〕

(1) 受取利息

受 取 利 息	
期首再振替 77,000円	当期受取額 326,000 円
当期分 313,000円	期末未収額 64,000円

(2) 工事進行基準

原価比例法とは、決算日における工事進捗度を見積る方法であり、その進捗度は次の割合で求めます。

決算日における工事進捗度：
$$\frac{\text{決算日までに発生した工事原価}}{\text{工事原価総額の見積額}}$$

① 前期（1期）

完成工事高：
$$\frac{35,000,000\text{円}}{\text{請負金額}} \times \frac{\text{前期決算日までの工事原価発生額 } 3,300,000\text{円}}{\text{工事原価総額の見積額 } 13,200,000\text{円}} \times \frac{(0.25)}{\text{工事進捗度}} = 8,750,000\text{円}$$

② 当期（2期）

イ. 完成工事高

$$\frac{36,700,000\text{円}^{\ast}}{\text{請負価額}} \times \frac{\text{当期決算日までの工事原価発生額 } 8,400,000\text{円}}{\text{変更後の工事原価総額の見積額 } 14,000,000\text{円}} \frac{(0.6)}{\text{工事進捗度}} - \frac{8,750,000\text{円}}{\text{前期(1期)完成工事高}} = 13,270,000\text{円}$$

$$\ast \quad 35,000,000\text{円} + 1,700,000\text{円} = 36,700,000\text{円}$$

ロ. 工事利益

$$\frac{13,270,000\text{円}}{\text{完成工事高}} - \frac{(8,400,000\text{円} - 3,300,000\text{円} < \text{前期} >)}{\text{当期の工事原価}} = \boxed{8,170,000} \text{円}$$

(3) 株式の発行

設立時の発行株式について会社法が定める最低限度は発行可能株式総数の4分の1です。また、会社の設立において資本金組入額を会社法が定める最低額とする場合、払込金額の2分の1となります。なお、払込金額のうち資本金に組入れない金額は資本準備金とします。

$$\text{発行株式数} : 2,000\text{株} \times \frac{1}{4} = 500\text{株}$$

$$\text{資本金組入れ最低額} : 500\text{株} \times 10,000\text{円} \times \frac{1}{2} = \boxed{2,500,000} \text{円}$$

(4) 本支店会計（本店勘定）

本店から支店へ振り替えられた勘定科目、金額はそのまま支店の帳簿に計上されます。よって、本店勘定は仕訳から貸借差額で求めます。

(現 金)	684,000	(工 事 未 払 金)	380,000
(材 料 貯 蔵 品)	225,000	(機械装置減価償却累計額)	180,000
(未 成 工 事 支 出 金)	316,000	(本 店)	1,205,000
(機 械 装 置)	540,000		

【第3問】

補助部門費の配賦（直接配賦法） ※円未満四捨五入

(1) 車両部門費

$$\text{第1部門} : 408,000\text{円} \times \frac{45\%}{45\% + 40\%} = 216,000\text{円}$$

$$\text{第2部門} : \quad \text{〃} \quad \times \frac{40\%}{45\% + 40\%} = 192,000\text{円}$$

(2) 機械部門費

$$\text{第1部門} : 602,000\text{円} \times \frac{44\%}{44\% + 42\%} = 308,000\text{円}$$

$$\text{第2部門} : \quad \text{〃} \quad \times \frac{42\%}{44\% + 42\%} = 294,000\text{円}$$

(3) 材料管理部門費

① 第2部門への配賦額

$$\frac{2,740,000\text{円}}{\text{部門個別費}} + \frac{192,000\text{円}}{\text{車両部門費}} + \frac{294,000\text{円}}{\text{機械部門費}} + \frac{X\text{円}}{\text{材料管理部門費}} = \frac{3,653,500\text{円}}{\text{合計}}$$

$$X = 427,500\text{円}$$

② 材料管理部門費

$$\frac{408,500\text{円}}{\text{第1部門}} + \frac{427,500\text{円}}{\text{第2部門}} = 836,000\text{円}$$

〔第4問〕

問1 営業費の分類

営業費とは、販売費及び一般管理費のことです。

建設業においては、工事原価の算定を重視し、営業費は、単に費目別の実際発生額を把握すればよかったのですが、市場の肥大化、産業構造の複雑化、経営組織の高度化などとともに、総原価に占める営業費の割合が増大してきており、その計算が重視されるようになってきました。

営業費会計に固有の効果的な分類は、一種の機能的分類として、営業費を次の三つに区分します。

(1) 注文獲得費 (order-getting costs)

注文獲得費は、需要を喚起し、受注を促進するためのコストであり、企画調査費、広告宣伝費、セールスプロモーション費等からなります。

これらの支出は、経営者または他の管理者の判断によって、大幅に変動しやすい政策費としての性格をもっているため、割当予算の編成が適しています。しかし、成果（収益）に先んじて支出されるものであるため、その効果の測定は難しく、割当予算と実績の比較によって管理することしかできません。

(2) 注文履行費 (order-filling costs)

注文履行費とは、獲得した注文を履行するためのコストであり、物流費、集金関係費、アフターサービス費等からなります。

これらは、受注が原因となって支出されるものであるため、成果（収益）との因果関係が把握しやすく、その能率測定はしやすい性格をもっています。そのため、変動予算あるいは標準原価を編成して管理することになります。

(3) 全般管理費 (general administrative costs)

全般管理費とは、企業全般の活動の維持・管理のためのコストであり、総務部、経理部、社長室等の機能関係費です。

これらは、注文の獲得や履行とは無関係に支出されるものであるため、その発生態様は多様かつ非定型的です。そのため、固定予算を編成して管理することになります。

以上を本問にあてはめると、以下のようになります。

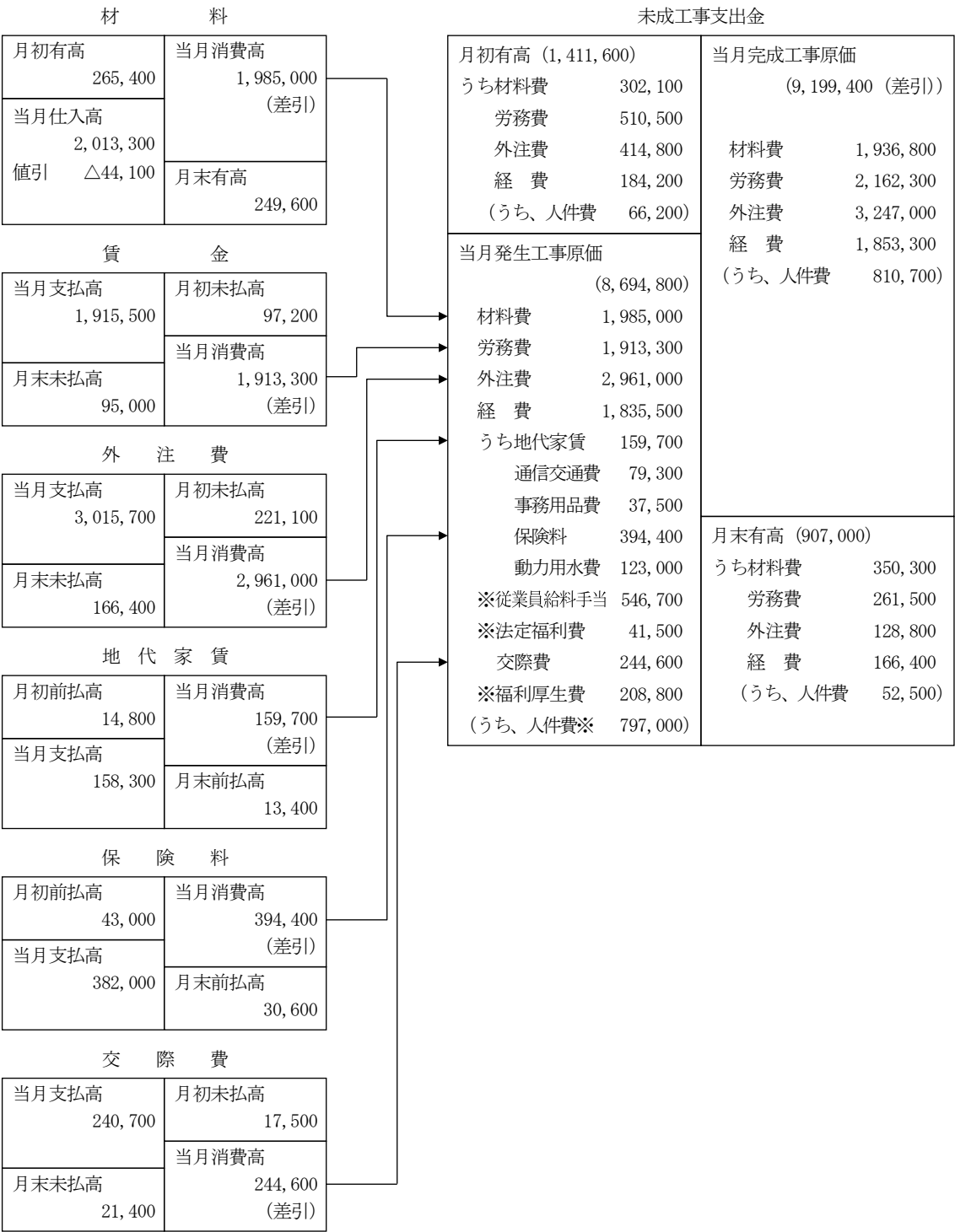
1. 「集合住宅のアフターサービス費」は、獲得した注文を履行するために発生するコストですのでB注文履行費に該当します。
2. 「住宅展示場の広告宣伝費」は、需要を喚起し、受注を促進するためのコストですのでA注文獲得費に該当します。
3. 「総務部で購入した消耗品費」は、企業全般の活動の維持・管理のためのコストですのでC全般管理費に該当します。
4. 「戸建住宅の市場における需要の調査費」は、需要を喚起し、受注を促進するためのコストですのでA注文獲得費に該当します。

問2 未成工事支出金勘定の借方側に当月発生工事原価が記入され、貸方側に当月完成工事原価が記入されます。

未成工事支出金

月初有高	当月完成 工事原価
当月発生 工事原価	
	月末有高

以下、具体的な勘定連絡図を示します。



〔第5問〕

(1) 銀行勘定調整表

① 未渡小切手（工事未払金の支払い、広告費の支払い）

（ 当 座 預 金 ）	58,000	（ 工 事 未 払 金 ）	28,000
		（ 未 払 金 ）	30,000

② 振込連絡未通知（工事の着手金）

（ 当 座 預 金 ）	48,000	（ 未 成 工 事 受 入 金 ）	48,000
-------------	--------	-------------------	--------

③ 引落連絡未通知（家賃）

（ 前 払 家 賃 ）	16,000	（ 当 座 預 金 ）	71,000
（ 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 ）	55,000		
支 払 家 賃			

④ 時間外預入：仕訳なし（銀行側の加算項目）

銀 行 勘 定 調 整 表（両者区分法）		（単位：円）	
当社の当座預金残高	349,000	取引銀行の残高証明書残高	348,000
① 未渡小切手（工事未払金、広告費）	(+) 58,000	④ 時間外預入	(+) 36,000
② 振込未通知（工事の着手金）	(+) 48,000		
③ 引落未通知（家賃）	(-) 71,000		
	<u>384,000</u>		<u>384,000</u>

(2) 仮払金の整理

① 出張旅費の精算

（ 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 ）	18,000	（ 仮 払 金 ）	11,000
旅 費 交 通 費		（ 未 払 金 ）	7,000

② 本社建物の補修工事代金

（ 建 物 ）	83,000	（ 仮 払 金 ）	107,000
（ 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 ）	24,000		
修 繕 維 持 費			

③ 中間納付額については、(12)で処理します。

(3) 手形の不渡りと貸倒引当金の計上

（ 不 渡 手 形 ）	30,000	（ 受 取 手 形 ）	30,000
（ 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 ）	30,000	（ 貸 倒 引 当 金 ）	30,000

(4) 貸倒引当金の計上

（ 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 ）	4,000	（ 貸 倒 引 当 金 ）	4,000
$\frac{(267,000円 - 30,000円 + 363,000円)}{T/B受取手形 \quad (3) \quad T/B完結工事未収入金 \quad T/B貸倒引当金} \times 1\% - 2,000円 = 4,000円$			

(5) 有価証券の期末評価

（ 有 価 証 券 ）	3,000	（ 有 価 証 券 評 価 益 ）	3,000
$\frac{103,000円 - 100,000円}{時価 \quad 帳簿価額} = 3,000円 \text{（評価益）}$			

(6) 棚卸減耗損

管理上やむを得ない発生額は、工事原価（未成工事支出金）に算入します。

（ 未 成 工 事 支 出 金 ）	4,000	（ 材 料 貯 蔵 品 ）	5,000
（ 棚 卸 減 耗 損 ）	1,000		

(7) 減価償却費の計上

① 工事用（機械装置）

機械装置の減価償却については、月額3,800円が予定計上（工事原価算入）されているので、決算時の実際発生額との差額は、未成工事支出金の算入額を調整する方法で処理します。

（機械装置減価償却累計額）	600	（未成工事支出金）	600
		減価償却費	

$$\frac{3,800\text{円/月} \times 12\text{ヵ月}}{\text{予定計上額}} - \frac{360,000\text{円} \div 8\text{年}}{\text{実際発生額}} = 600\text{円（過大計上）}$$

② 一般管理用（建物）

（販売費及び一般管理費）	25,000	（建物減価償却累計額）	25,000
減価償却費			

$$750,000\text{円} \div 30\text{年} = 25,000\text{円}$$

③ 一般管理用（備品）

（販売費及び一般管理費）	20,000	（備品減価償却累計額）	20,000
減価償却費			

$$120,000\text{円} \div 6\text{年} = 20,000\text{円}$$

(8) 退職給付引当金の計上

前期末の自己都合要支給額と当期末の自己都合要支給額の差額から、当期の繰入額を求めます。

（販売費及び一般管理費）(*1)	14,000	（退職給付引当金）	29,000
退職給付引当金繰入額			
（未成工事支出金）(*2)	15,000		
退職給付引当金繰入額			

$$(*1) \frac{59,000\text{円}}{\text{当期末}} - \frac{48,000\text{円}}{\text{前期末}} - \frac{3,000\text{円}}{\text{取崩額}} = 14,000\text{円}$$

$$(*2) \frac{72,000\text{円}}{\text{当期末}} - \frac{57,000\text{円}}{\text{前期末}} = 15,000\text{円}$$

(9) 仮設撤去費の未払計上

（未成工事支出金）	7,000	（工事未払金）	7,000
-----------	-------	---------	-------

(10) 完成工事補償引当金の計上

（完成工事補償引当金）	300	（未成工事支出金）	300
		完成工事補償引当金戻入額	

$$\frac{4,000,000\text{円}}{\text{完成工事高}} \times 0.1\% - \frac{4,300\text{円}}{\text{T/B完成工事補償引当金}} = \triangle 300\text{円（戻入額）}$$

(11) 完成工事原価の計上

（完成工事原価）	51,000	（未成工事支出金）	51,000
----------	--------	-----------	--------

$$\frac{197,000\text{円}}{\text{T/B未成工事支出金}} + \frac{4,000\text{円}}{(6)} - \frac{600\text{円}}{(7)①} + \frac{15,000\text{円}}{(8)} + \frac{7,000\text{円}}{(9)} - \frac{300\text{円}}{(10)} - \frac{171,100\text{円}}{\text{次期繰越}} = 51,000\text{円}$$

(12) 法人税、住民税及び事業税の計上

（法人税、住民税及び事業税）(*1)	120,000	（仮払金）	62,000
		（未払法人税等）	58,000

$$(*1) \frac{4,003,000\text{円}}{\text{収益合計}} - \frac{3,603,000\text{円}}{\text{費用合計}} \times 30\% = 120,000\text{円}$$

〔第3問〕 についての補助問題です。相互配賦法および階梯式配賦法についてもしっかりマスターしましょう。

〔補助問題〕 当社で請負っている工事については、施工部門（第1部門および第2部門）および施工部門に共通して補助的サービスを提供している補助部門（車両部門、機械部門および材料管理部門）を設け各部門とも独立して原価管理を実施している。＜資料＞に基づいて、各問に答えなさい。なお、解答にあたって端数が生じた場合は、円未満を四捨五入すること。

＜資 料＞

(1) 「部門費配分表」に集計された各部門費の合計金額

第1部門 ￥2,880,000 第2部門 ￥2,740,000

車両部門 ￥ 408,000 機械部門 ￥ 602,000 材料管理部門 ￥ 836,000

(2) 各補助部門の他部門へのサービス提供度合

(単位：%)

	第 1 部 門	第 2 部 門	車 両 部 門	機 械 部 門	材料管理部門
車 両 部 門	45	40	—	7	8
機 械 部 門	44	42	8	—	6
材料管理部門	43	45	4	8	—

問1 相互配賦法により補助部門費を施工部門に配賦し、解答用紙の「部門費振替表」を完成しなさい。

問2 階梯式配賦法により補助部門費を施工部門に配賦し、解答用紙の「部門費振替表」を完成しなさい。補助部門費の配賦にあたっては、第1順位を材料管理部門、第2順位を機械部門、第3順位を車両部門とする。

〔補助問題〕 解答用紙

問 1

部 門 費 振 替 表

(単位：円)

摘 要	合 計	第 1 部 門	第 2 部 門	車 両 部 門	機 械 部 門	材料管理部門
部門費合計	7,466,000	2,880,000	2,740,000	408,000	602,000	836,000
(第1次配賦)						
車 両 部 門				—		
機 械 部 門					—	
材料管理部門						—
(第2次配賦)						
車 両 部 門						
機 械 部 門						
材料管理部門						
合 計	7,466,000					
配 賦 金 額						

問 2

部 門 費 振 替 表

(単位：円)

摘 要	合 計	第 1 部 門	第 2 部 門	車 両 部 門	機 械 部 門	材料管理部門
部門費合計	7,466,000	2,880,000	2,740,000	408,000	602,000	836,000
材料管理部門						
機 械 部 門						
車 両 部 門						
合 計	7,466,000					

〔補助問題〕解答・解説

問 1 (相互配賦法)

部 門 費 振 替 表							(単位：円)																													
摘 要	合 計	第 1 部 門	第 2 部 門	車 両 部 門	機 械 部 門	材料管理部門																														
部門費合計	7,466,000	2,880,000	2,740,000	408,000	602,000	836,000																														
(第1次配賦)																																				
車 両 部 門	<table><tr><td>4</td><td>0</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>			4	0	8	0	0	0	<table><tr><td>1</td><td>8</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	1	8	3	6	0	0	<table><tr><td>1</td><td>6</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	1	6	3	2	0	0	—	<table><tr><td>2</td><td>8</td><td>5</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>	2	8	5	6	0	<table><tr><td>3</td><td>2</td><td>6</td><td>4</td><td>0</td></tr></table>	3	2	6	4	0
4	0			8	0	0	0																													
1	8			3	6	0	0																													
1	6	3	2	0	0																															
2	8	5	6	0																																
3	2	6	4	0																																
機 械 部 門	<table><tr><td>6</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	6	0	2	0	0	0	<table><tr><td>2</td><td>6</td><td>4</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>	2	6	4	8	8	0	<table><tr><td>2</td><td>5</td><td>2</td><td>8</td><td>4</td><td>0</td></tr></table>	2	5	2	8	4	0	<table><tr><td>4</td><td>8</td><td>1</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>	4	8	1	6	0	—	<table><tr><td>3</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td></tr></table>	3	6	1	2	0		
6	0	2	0	0	0																															
2	6	4	8	8	0																															
2	5	2	8	4	0																															
4	8	1	6	0																																
3	6	1	2	0																																
材料管理部門	<table><tr><td>8</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	8	3	6	0	0	0	<table><tr><td>3</td><td>5</td><td>9</td><td>4</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>	3	5	9	4	8	0	<table><tr><td>3</td><td>7</td><td>6</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	3	7	6	2	0	0	<table><tr><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td></tr></table>	3	3	4	4	0	<table><tr><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>	6	6	8	8	0	—		
8	3	6	0	0	0																															
3	5	9	4	8	0																															
3	7	6	2	0	0																															
3	3	4	4	0																																
6	6	8	8	0																																
				<table><tr><td>8</td><td>1</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	8	1	6	0	0	<table><tr><td>9</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td></tr></table>	9	5	4	4	0	<table><tr><td>6</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>	6	8	7	6	0															
8	1	6	0	0																																
9	5	4	4	0																																
6	8	7	6	0																																
(第2次配賦)																																				
車 両 部 門	<table><tr><td>8</td><td>1</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	8	1	6	0	0	<table><tr><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	4	3	2	0	0	<table><tr><td>3</td><td>8</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	3	8	4	0	0																		
8	1	6	0	0																																
4	3	2	0	0																																
3	8	4	0	0																																
機 械 部 門	<table><tr><td>9</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td></tr></table>	9	5	4	4	0	<table><tr><td>4</td><td>8</td><td>8</td><td>3</td><td>0</td></tr></table>	4	8	8	3	0	<table><tr><td>4</td><td>6</td><td>6</td><td>1</td><td>0</td></tr></table>	4	6	6	1	0																		
9	5	4	4	0																																
4	8	8	3	0																																
4	6	6	1	0																																
材料管理部門	<table><tr><td>6</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>	6	8	7	6	0	<table><tr><td>3</td><td>3</td><td>5</td><td>9</td><td>9</td></tr></table>	3	3	5	9	9	<table><tr><td>3</td><td>5</td><td>1</td><td>6</td><td>1</td></tr></table>	3	5	1	6	1																		
6	8	7	6	0																																
3	3	5	9	9																																
3	5	1	6	1																																
合 計	7,466,000	<table><tr><td>3</td><td>8</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>	3	8	1	3	5	8	9	<table><tr><td>3</td><td>6</td><td>5</td><td>2</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	3	6	5	2	4	1	1																			
3	8	1	3	5	8	9																														
3	6	5	2	4	1	1																														
配 賦 金 額		<table><tr><td>9</td><td>3</td><td>3</td><td>5</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>	9	3	3	5	8	9	<table><tr><td>9</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	9	1	2	4	1	1																					
9	3	3	5	8	9																															
9	1	2	4	1	1																															

(1) 第1次配賦

① 車両部門費

$$\text{第 1 部 門} : 408,000 \text{円} \times \frac{45\%}{45\%+40\%+7\%+8\%} = 183,600 \text{円}$$

$$\text{第 2 部 門} : \quad \quad \times \frac{40\%}{45\%+40\%+7\%+8\%} = 163,200 \text{円}$$

$$\text{機 械 部 門} : \quad \quad \times \frac{7\%}{45\%+40\%+7\%+8\%} = 28,560 \text{円}$$

$$\text{材料管理部門} : \quad \quad \times \frac{8\%}{45\%+40\%+7\%+8\%} = 32,640 \text{円}$$

② 機械部門費

$$\text{第 1 部 門} : 602,000 \text{円} \times \frac{44\%}{44\%+42\%+8\%+6\%} = 264,880 \text{円}$$

$$\text{第 2 部 門} : \quad \quad \times \frac{42\%}{44\%+42\%+8\%+6\%} = 252,840 \text{円}$$

$$\text{車 両 部 門} : \quad \quad \times \frac{8\%}{44\%+42\%+8\%+6\%} = 48,160 \text{円}$$

$$\text{材料管理部門} : \quad \quad \times \frac{6\%}{44\%+42\%+8\%+6\%} = 36,120 \text{円}$$

③ 材料管理部門費

$$\text{第 1 部 門} : 836,000 \text{円} \times \frac{43\%}{43\%+45\%+4\%+8\%} = 359,480 \text{円}$$

$$\text{第 2 部 門} : \quad \quad \times \frac{45\%}{43\%+45\%+4\%+8\%} = 376,200 \text{円}$$

$$\text{車 両 部 門} : \quad \quad \times \frac{4\%}{43\%+45\%+4\%+8\%} = 33,440 \text{円}$$

$$\text{機 械 部 門} : \quad \quad \times \frac{8\%}{43\%+45\%+4\%+8\%} = 66,880 \text{円}$$

① 車両部門費 (48,160円+33,440円=81,600円)

第 2 部門: $\text{〃} \times \frac{40\%}{45\%+40\%} = 38,400$

第 1 部 門： $95,440\text{円} \times \frac{44\%}{44\%+42\%} = 48,829.7\cdots \rightarrow 48,830\text{円}$ (円未満四捨五入)

第 2 部 門: " $\times \frac{42\%}{44\%+42\%} = 46,610.2 \cdots \rightarrow 46,610$ 円 (円未満四捨五入)

第 1 部 門： $68,760\text{円} \times \frac{43\%}{43\%+45\%} = 33,598.6\cdots \rightarrow 33,599\text{円}$ (円未満四捨五入)

第 2 部 門: " $\times \frac{45\%}{43\%+45\%} = 35,161.3 \cdots \rightarrow 35,161$ 円 (円未満四捨五入)

第1部門：183,600円+264,880円+359,480円+43,200円+48,830円+33,599円=933,589円

第2部門：163,200円+252,840円+376,200円+38,400円+46,610円+35,161円=912,411円
第1次配賦第2次配賦

(単位：円)

部門別費目表																																			
摘 要	合 計	第 1 部 門	第 2 部 門	車 両 部 門	機 械 部 門	材料管理部門																													
部門費合計	7,466,000	2,880,000	2,740,000	408,000	602,000	836,000																													
材料管理部門	<table><tr><td>8</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	8	3	6	0	0	0	<table><tr><td>3</td><td>5</td><td>9</td><td>4</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>	3	5	9	4	8	0	<table><tr><td>3</td><td>7</td><td>6</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	3	7	6	2	0	0	<table><tr><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td><td></td></tr></table>	3	3	4	4	0		<table><tr><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td><td></td></tr></table>	6	6	8	8	0	
8	3	6	0	0	0																														
3	5	9	4	8	0																														
3	7	6	2	0	0																														
3	3	4	4	0																															
6	6	8	8	0																															
機 械 部 門	<table><tr><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>	6	6	8	8	8	0	<table><tr><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>9</td><td>3</td></tr></table>	3	1	3	0	9	3	<table><tr><td>2</td><td>9</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td>1</td></tr></table>	2	9	8	8	6	1	<table><tr><td>5</td><td>6</td><td>9</td><td>2</td><td>6</td><td></td></tr></table>	5	6	9	2	6		<table><tr><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>	6	6	8	8	8	0
6	6	8	8	8	0																														
3	1	3	0	9	3																														
2	9	8	8	6	1																														
5	6	9	2	6																															
6	6	8	8	8	0																														
車 両 部 門	<table><tr><td>4</td><td>9</td><td>8</td><td>3</td><td>6</td><td>6</td></tr></table>	4	9	8	3	6	6	<table><tr><td>2</td><td>6</td><td>3</td><td>8</td><td>4</td><td>1</td></tr></table>	2	6	3	8	4	1	<table><tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td></tr></table>	2	3	4	5	2	5	<table><tr><td>4</td><td>9</td><td>8</td><td>3</td><td>6</td><td>6</td></tr></table>	4	9	8	3	6	6							
4	9	8	3	6	6																														
2	6	3	8	4	1																														
2	3	4	5	2	5																														
4	9	8	3	6	6																														
合 計	7,466,000	<table><tr><td>3</td><td>8</td><td>1</td><td>6</td><td>4</td><td>1</td></tr></table>	3	8	1	6	4	1	<table><tr><td>3</td><td>6</td><td>4</td><td>9</td><td>5</td><td>8</td></tr></table>	3	6	4	9	5	8																				
3	8	1	6	4	1																														
3	6	4	9	5	8																														

$$\text{第 1 部 門：} 836,000\text{円} \times \frac{43\%}{43\% + 45\% + 4\% + 8\%} = 359,480\text{円}$$

第 2 部 門: " $\times \frac{45\%}{43\%+45\%+4\%+8\%}=376,200$ 円

車 両 部 門: " $\times \frac{4\%}{43\%+45\%+4\%+8\%} = 33,440\text{円}$

機械部門: $110,000 \times \frac{8\%}{43\% + 45\% + 4\% + 8\%} = 66,880 \text{円}$

第 1 部 門：668,880円 × $\frac{44\%}{44\%+42\%+8\%}$ = 313,092.7… → 313,093円（円未満四捨五入）

第 2 部 門： " $\times \frac{42\%}{44\%+42\%+8\%} = 298,861.2 \cdots \rightarrow 298,861$ 円（円未満四捨五入）

車 両 部 門： " $\times \frac{8\%}{44\%+42\%+8\%} = 56,925.9\cdots \rightarrow 56,926\text{円}$ (円未満四捨五入)

(3) 車両部門費 (408,000円+33,440円+56,926円=498,366円)

$$\text{第 1 部門: } 498,366\text{円} \times \frac{45\%}{45\%+40\%} = 263,840.8\cdots \rightarrow 263,841\text{円} \text{ (円未満四捨五入)}$$

$$\text{第 2 部門: } \quad \quad \times \frac{40\%}{45\%+40\%} = 234,525.1\cdots \rightarrow 234,525\text{円} \text{ (円未満四捨五入)}$$